

外郭団体中期経営計画シート(平成27年度～平成29年度)

外郭団体名	公益財団法人堺市公園協会	設立年月日	昭和45年9月4日設立	所管課	建設局 公園緑地部 公園監理課
-------	--------------	-------	-------------	-----	-----------------

1. 基本方針

設立目的	求める役割 【所管局】	外郭団体が目指すべき将来像
堺市の都市公園の円滑な運営及び健全な利用の促進を図るとともに、市民の公園緑地に対する愛護精神の普及啓発並びに緑化の推進に寄与すること。	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化普及活動及び公園愛護活動における地域団体等を育成・支援し、市民協働による花と緑があふれ安全で快適な公園緑地の環境づくり並びに多様な利活用の促進 ・効果的なイベント等を企画運営し、魅力ある公園づくりの推進 ・企業の持つ緑に関する情報の発信や、緑化推進における企業参画の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・公益事業 公園愛護会活動の育成・支援等の連携を強化し、公園愛護会事業を推進する。また、市民協働のネットワークの構築、企業緑化活動の創出を行い、緑化推進に寄与する。 ・収益事業 効率・効果的な駐車場運営を行うとともに、企業と多種多様な連携事業を展開するなど収益力を向上させ、経営基盤を強化し、公益事業と収支相償を図る。

2. 主な活動実績

現在も継続している活動実績	これまでの顕著な活動実績
<ul style="list-style-type: none"> ・公園愛護会事業: 活動支援、活動啓発看板設置、校区交流会開催、愛護委員との連携強化 ・みどり活動支援事業: 自らが取り組む緑化活動に対して園芸資材を支援する。(58校区/92校区)5年目 ・花のボランティア活動: 市内4か所の育苗地において種から花苗を育て、地域に花飾りを実施(会員:600名・育苗数:20万株/年・花飾り場所:180か所)11年目 ・平成の森づくり事業: 都市公園に「市民参画で森づくり」を実施(1.2haを実施)12年目 ・緑の瓦版: 堺市都市緑化基金機関紙で基金事業の啓発として発刊(年2回発刊)11年目 ・花と緑と人のふれあいコンクール: 地域緑化活動の顕彰としてコンクールを開催(団体40団体、個人13か所 計53か所)8年目 	<ul style="list-style-type: none"> ・花と緑のまちづくり講座 地域緑化活動者の人材育成として講座を開講した。(13年間実施(延べ250名)・平成25年度終了) 講座受講者は、現在、地域緑化活動にて活躍中 ・花と緑のわがまちづくりモデル事業 市民主体の花と緑のまちづくりを促進するため、モデル事業として申請のあった地域に対して、支援を行った。(平成15年度～平成24年度:57校区実施) ※1校区、5年間継続活動

3. 環境分析

外郭団体による環境分析	所管局による環境分析 【所管局】	外郭団体の対応方針
<ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化活動や公園愛護会活動をしているボランティアの高齢化により、活動者が減少傾向にあり、新たな参画者の確保が難しい状況にある。 ・収益事業のうち駐車場運営事業については、精算機等の老朽化のため保守点検できず、有人化による人件費の増で収益が悪化し、厳しい経営状況にある。 ・緑化推進における企業参画等について、企業の経営環境が悪化し、経営戦略方針と参画条件が合わないことなどにより難しい状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化や価値観の多様化・ライフスタイルの変化による近隣住民間のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、その課題もますます複雑化・多様化している中で、地域緑化活動や公園愛護会などの市民協働による活動は、活動者の高齢化により、継続が困難になるなどの問題がある。 ・緑化推進における企業参画は、社会貢献活動の一環として行われ、企業の金銭的負担を伴い、昨今の事情から経費の抛出は企業の経営戦略上、優先的になりにくい状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・減少するボランティアの掘り起しをするため、自治会との協議、協会ホームページの活用、魅力ある事業展開による新たな参加者の発掘を行う。また、現有の市民協働のネットワークの強化を図り、減少に歯止めをかける。 ・駐車場運営事業について、より効率・効果的な運営を行うための具体的な見直し案を早急に作成し、市との協議を進める。 ・企業参画等の新規事業については、ニーズを的確に捉え、魅力ある事業提案を実施する。

5. 中期経営目標

中期 経営 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・公園愛護会活動については、自ら活動を行えるようにサポートし、地域住民の協力を得るための催しを展開することで、愛護会活動(清掃活動等)を再認識する場をつくっていく。 ・地域緑化活動については、活動の継続を図るとともに、活動団体を毎年増やしていくことを目標とする。 ・企業参画による緑化推進については、企業の意向を把握し、企業が参画しやすい仕組みを構築し、事業展開していく。 ・収益事業について、より効率・効果的な運営を行うとともに、新たな事業を展開して収益力を向上させ、経営基盤の強化を図るとともに、これにより生まれる利益を還元し、緑化事業を推進する。 ・会計事務に関する研修等を計画的に実施し、今後の事業展開に必要とする人材を育成し、また、資格取得等に向けたサポートを行い、職員の資質向上、人材育成等をより一層推進する。
	所管局意見【所管局】
	<p>都市公園の円滑な運営及び健全な利用の促進を図るとともに、市民の公園緑地に対する愛護精神の普及啓発並びに緑化の推進に寄与する目的を持つ団体として、地域緑化活動、公園愛護会活動の拡充、緑化推進における企業参画の取組みや収益事業を広く展開し、これにより生まれる利益を還元し緑化事業を推進することに目標を置いていることは評価できる。また、職員の資質向上、人材育成等について、会計事務をはじめとする内部管理事務処理能力の向上や法人のマネジメント力の強化を図られたい。</p>

6. 中期経営方針

中期 経営 方針	平成27年度方針	平成28年度方針	平成29年度方針
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化活動、公園愛護会活動の高齢化や継続が困難になってきている団体の課題点などを確認し、今後、継続していくための対策を検討し、多種多様な団体の交流・連携等を図る。 ・緑化推進における企業参画については、経済情勢を考慮しつつ、企業の意向を確認し実施方法等を調整しながら、事業展開していく。 ・より効率・効果的な駐車場運営を行うための機械化の協議を市と行う。また、自動販売機の新たな設置などを検討し、公園利用者の利便性を図る。民有地の樹木管理について収益事業を展開していく。 ・職員の人材育成として会計事務や園芸等の技術に関する研修を計画的に実施し、資格取得に向けたサポートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化活動、公園愛護会活動団体の課題点などの解決策を自治会などと調整し、継続できる体制づくりを行い、多種多様な団体の交流・連携等を図る。 ・緑化推進における企業参画の課題点を解決し、更に継続できる体制づくりを行っていく。 ・駐車場運営の機械化による営業時間や料金改定の検討を行う。また、自動販売機の運営については、公園利用者のニーズなどを把握し、さらなる利便性の向上を図る。また、民有地の樹木管理については、宣伝活動を強化し、収益事業を展開していく。 ・職員の人材育成として会計事務に関する研修等を引続き実施し、資格取得に向けたサポートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域緑化活動、公園愛護会活動団体の育成・支援等を強化し、多種多様な団体の交流・連携等を推進する。 ・緑化推進における企業参画が継続できる体制づくりを構築し、事業展開していく。 ・効率・効果的な駐車場運営を行っていき、更に収益率を上げるための方策を検討していく。また、新たな収益事業を計画的に実施し、課題点などを解決し、収益率を上げていく。 ・会計事務に関する研修等を引続き実施し、資格取得に向けたサポートを行い、職員の資質向上、人材育成等をより一層推進する。

7. 特記事項

特記事項【所管局】	<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人として、公益目的事業である「公園愛護会事業」及び「緑化推進事業」をより一層確実に推進し、レベルアップを図るとともに、会計事務等の事務執行体制の強化や法人のマネジメント力の強化を図り、自主的・自律的な組織運営を行われたい。 ・公益財団法人の職員に求められる資質向上など人材育成や、効率・効果的な運営による収益の確保に精力的に取り組まれたい。
-----------	---